

◎特集1

野菜づくりは、喜びづくり。
考えよう、楽しもう、チャレンジしよう!!

スローライフ・スローフードが注目を集めるなか、野菜作りや農業体験が人気を呼んでいます。自分の手で育てた作物を収穫する喜び、みずみずしい野菜を味わうしあわせ…想像しただけでもワクワクしますね。

「旬」の食材は
おいしくて

新鮮、栄養も
満点です。

春です。庭や

野山に心が向かいます。

さあ、あなたも、季節の恵みを
たっぷり享受する楽しい農業で、
いきいき笑顔に、健康に…。



岡谷市の農業体験事業が、今年もいよいよ始まります！

楽々農業楽しみま専科事業

「研修農園」参加者募集！

「研修農園」は、農業を始めたい、野菜栽培の知識を身につけたい、上手に野菜を作りたいなど、農業に関心を持っている市民のみなさんが、農業の基礎を修得する場。管理者の指導のもと、自主性を発揮して、楽しく、気軽な野菜づくりに挑戦できます。

場所：市民体育館駐車場西側研修農園22区画

定員：個人またはグループ（4名以内）22組

面積：1区画・約30㎡

費用：年間5000円（利用料、テキスト、講習、肥料、タネ、苗の代金を含む）

栽培作物は管理者が指定（ジャガイモ、キュウリ、ナス、ネギ、ニンジンなど20種）。共同区画ではかにトウモロコシなど6種類も栽培します。

参加受付：3月22日（火）～31日（木）午前

9時～午後6時（申込み多数の場合は抽選）参加者決定後、説明会を開催します。詳しくはお問い合わせください。

スケジュール

● 4月～11月の活動期間内に15回の講習会（月2回程度）を実施します。

● 講習は、日曜日、月曜日と同じ内容で行います。利用者は、どちらかに参加して研修を受け、自分の区画で野菜づくりを実践します。



プランターから始める農業事業

「プランター」野菜栽培講習会」参加者募集！

畑ではちょっと荷が重い、もう少し気軽に、負担なく始められたら：そんな人には、プランターでの野菜栽培がおすすめです。平成22年度は多くの男性も参加されました。市農業婦人グループ連絡協議会の指導で、楽しくプチ農業体験ができます。

場所：市立岡谷図書館、湊支所、川岸支所、長地支所

定員：60名

費用：1500円（プランター、土、肥料、苗の代金を含む）

ミニトマト、ナス、ピーマン、シシトウのいずれか1種類を選択

参加受付：4月19日（火）～28日

（木）午前9時～午後6時（先着順。ただし未受講者優先）詳しくはお問い合わせください。

スケジュール

5月下旬：植え付け講習
6～7月：栽培管理講習
8月：料理講習



「市民農園」参加者募集！

専用区画で自由に栽培！新たに約10区画（約15～100坪）と、空き区画約10区画（約15坪）を募集します。

募集受付：3月7日（月）～13日（日）午前9時～午後6時。場所など、詳しくはお問い合わせください。

すべての問合せ ● 農林水産課（内線1487）

野菜のことわざ辞典

「大根役者」

大根は消化がよくお腹の調子が悪くすることがめつたにないことから、あたらな（ウケない）役者をこう呼びます。

「秋なすは嫁に食わずな」

秋ナスはおいしいので、姑が嫁に食べさせないという説や、ナスは体を冷やすので、嫁の体を気づかっているという説があります。

「栗よりうまい十三里」

「十三里」とはサツマイモのこと。「クリ（九里）」と「より（四里）」を足すと十三里になりますが、サツマイモの産地、川越は、なんと江戸から十三里。



家族で収穫！子どもも大喜び

第1期受講生 瀧澤さつきさん



田んぼや畑のある家で育ちましたので、実家からの聞きかじりで家庭菜園を始めてみたんですが、うまくいかなくて。そんなとき、研修農園の募集を見つけた「渡りに舟！」と申し込みました。作物にあった栽培方法をして、手間をかければ育つんですね。わたしの場合、家を出られず、ようすを見に行かないときなども、先生が面倒見てくださったからです。

木酢液とトウガラシの防虫剤やコンパニオンプランツなど農業に頼らない農業方法は、逆に実家にも教えてあげることができました。キャベツや白菜などはとくに、収穫を手伝ってくれた子どももびびりするほど大きくきれいに育つて、ほんとうに感動しました。

今年は、わが家の庭で昨年の復習。基本の野菜を無農薬で作ります！

「おひさまファームの会」 継続します

第1期受講生 笠原 英昭さん



一昨年会社を定年退職し、時間ができたので、畑をやりたいと思い申し込みました。講習が丁寧で、資料やテキストもわかりやすく、費用もほとんどかからないのでありがたかったです。

水やりや草取りに根気よく通った成果でしょうか、キュウリやナスの実りの多さ、白菜、キャベツ、大根、ネギの立派さといったらなかつたです。育てて、収穫して、家で料理して食べる…うれしさとおいしさが格別でした。

今年も、研修農園終了生区画を借り、昨年の仲間と「おひさまファーム」を継続。もう1年、先生にお世話になりながら、今年度の受講生とのネットワークも広げ、独り立ちをめざします。

プランター講習会レポート



講習会風景



プランターとは思えないできばえ



栽培品目を用いた野菜料理講習

岡谷市の取り組み

市は、遊休農地貸借事業として、農地の貸し借りをあつせん、農地活用を後押しするほか、イノシシやシカの被害に遭いにくい「アマワラビ」栽培を提案し、獣害対策として市内への普及に努めています。アマワラビは、アクなしワラビともいわれ、アク抜きをしないで手軽に料理できること、栽培量が多く、病虫害にも強いなど、利点が多い注目の作物です。



農業の生み出すもの

「今年も野菜を作りたい」：研修農園、プランター野菜栽培講習に参加したみなさんは口をそろえます。野菜づくりは、喜びづくり。大変さを味わい、奥深さを知る、そして何よりおいしくて楽しい経験になったそうです。

こうした体験が、農業にいつそうの関心を集めるにとどまらず、農業の担い手育成、耕作放棄地の解消、地産地消の推進にもつながっていくけば、日本の将来、農業振興にも明るい期待が持てそうです。

食べることは、生きる基本。大地の恵みは心の癒しでもあります。

自ら安心の食料をつくらせて食べる、健康で充実した毎日を送る、生活環境や地球環境を維持する…それを実現するのが農業です。喜びを見つけてみませんか。まずは小さなプランターからでも、みんなで農業。夢を大きく育ててみませんか。



問合せ ●

農林水産課（内線1487）